

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

福岡県立三潴高等学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	三潴高等学校第3学年1組スポーツ文化コース ソフトボール選択者 19名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・これからのスポーツへの関わり方を見出す ・スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成
5 取組内容	<p>○ソフトボール日本代表選手であり、世界最速117kmを誇る上野由岐子選手の球速をピッチングマシーンを使用して体験させることによって、上野選手の凄さを体感させるとともに、ソフトボールに対する興味関心を高めることを意図した。</p> <p>○ピッチングマシーンをういて球速117kmを1人1打席体験 安全への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット・肘あて着用 ・コースはアウトコースに設定 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>実際にバッターボックスに立つとより速く感じる!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>こんな球を投げる方も、打ち返す方もすごい!</p> </div> </div>

	<p>(生徒の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球と異なり、下からボールが上がってくるので怖かったが世界最速の球を体験できて、とてもいい経験になった。 ・世界に通用する人は、かなりの努力を積み重ねてきたのだと改めて感じた。 ・このような体験をしたことで、スポーツをいろんな方向から感じていく面白さを学んだ。 ・世界で戦う日本代表のレベルの高さを痛感した。 ・すごく楽しかった。世界に通用する選手になり、いずれそんな選手を育てる指導者になりたい。 ・スピードだけでなく、色々な球種がある中、打ち返していくことは至難の業であると感じた。 <p>(現時点で生徒が考える東京大会への関わり方 アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ観戦 ・現地での観戦 ・会場スタッフ等のボランティア ・このクラスからオリンピック選手が出たら、自分のできる限りのことをしたい
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ（オリンピック・パラリンピック）への関心が高まった。 ・様々な視点からスポーツに関わることを考える大きな一歩となった。 ・世界で活躍する選手の凄さ、レベルの高さについて体験を通して体で感じる事ができた。
7実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> ・危険防止としてヘルメットや肘あての着用等、事前対策をしっかりと行った。 ・事前に、上野由岐子選手の活躍やエピソード等について学習し、体験を通して、改めて上野選手の凄さを体感できるようにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ピッチングマシーン1台での活動だったので、生徒の活動量の確保ができなかった。 ・挑戦する球数をもう少し増やしてもよかった。 ・事後学習の充実を図る必要がある。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の課題の改善策を考えた上で、より効果的な実践になるよう工夫していきたい。 ・ソフトボール以外の種目による、実践事例も考えていきたい。